



ジョージア・オキーフ(タチアオイの白と緑—ヘザーナル山の見える)1937年  
東京国立近代美術館蔵 ©東京国立近代美術館 2012

画家たちと旅する花の世界

# FLOWERSCAPES

## フラスケープ

CLAUDE MONET\_\_PIERRE AUGUSTE RENOIR\_\_YAJURO TAKASHIMA\_\_TOSIO ARIMOTO\_\_TOMIO MIKI  
SHIKANOSUKE OKA\_\_YURI NONAKA\_\_GEORGIA O'KEEFFE\_\_HISUI SUGIURA\_\_TSUGUHARU FOUJITA  
J.J.GRANDVILLE\_\_RYUSEI KISHIDA\_\_MAURICE DENIS\_\_MOÏSE KISLING\_\_MIRAN FUKUDA\_\_JIM DINE  
HENRI ROUSSEAU\_\_MARIE LAURENCIN\_\_ROY LICHTENSTEIN\_\_ANDY WARHOL\_\_HENRI FANTIN-LATOUR

2012.4.28 [土] — 7.22 [日]

開館時間\_\_9:30→17:00(入館は16:30まで) 休館日\_\_月曜日[4/30、7/16は開館]、7/17(火)

入館料\_\_一般1,200円(1,000円)、学生・65歳以上1,000円(800円)、小中学生・高校生500円(400円)※( )内は20名以上の団体料金

主催\_\_DIC川村記念美術館 後援\_\_千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会、NPOバラ文化研究所



# FLOWERSCAPES

いつの時代も芸術家たちは自然に向き合い、あるいは想像力を駆使して花を描いてきました。彼らが独自の視点と手法によって描いた花々は、現実とは異なるイメージの力によって私たちに魅了します。本展では花の描かれた絵画空間を「FLOWERSCAPES(フラワースケープ)」と名付け、描かれた花々に秘められた豊かな可能性を探ります。



アンリ・マルタン《画家の家の庭》1902年  
東京富士美術館



クロード・モネ《ジヴェルニーの草原》1890年  
福島県立美術館(展示期間:4月28日-6月10日)

## 1 画家たちの花園

郊外の田園地帯に広がる花畑。街角や庭先に咲く花々。印象派やそれに続く西洋近代の画家たちは、野に咲く花々に自然や季節の美しさを見出し、生活の中で花を愛でる喜びを描き出しました。

## 5 生きている花々

気高く咲く百合は女王様。華やかなダリアはお洒落さん。ヒマワリ君はお天道様権を拝み、スマイル娘たちは寄り集まって情緒話。3つの挿画本に描かれた花の王国の住人たちの不思議な世界を覗いてみます。



ウォルター・クレイン《夏の女王、あるいは百合と薔薇の騎馬試合》より  
1891年 町田市立国際版画美術館



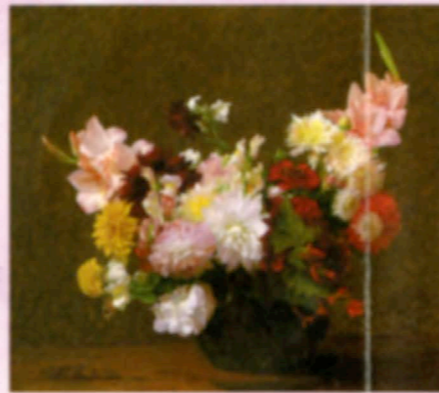
杉浦非水《非水百花譜》より《あぢさゐ》  
1920-22年 宇都宮美術館

## POP GARDEN

アンディ・ウォーホルとロイ・リキテンスタイン。現実の花と向き合うことなく、既存のイメージを参照・利用して描かれたポップ・アートの作品からは、「花の絵画とは？」という疑問が浮かび上がります。



アンディ・ウォーホル《花》1970年 DIC川村記念美術館  
© 2012 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts / ARS, N.Y. / SPDA, Tokyo



ヴィクトリア・デュブール《花》制作年不詳  
国立西洋美術館(松方コレクション)

## 6 野中ユリ:夢の地表へ

### 野中ユリ:夢の地表へ

瀧口修造や辻澤龍彦の著書の挿画・装幀を手がけ、コラージュの手法で制作する作家、野中ユリ。原初の混沌、あるいは寓話的世界に不意に挿入される花のイメージは、見る者に鮮烈なインパクトを与えます。



野中ユリ《硝煙画報 菜の花》制作年不詳 神奈川県立近代美術館寄託  
©Yuri Nonaka 2012(展示期間:6月12日-7月22日)

## 7 杉浦非水:

### 眼の記録、百花の図譜

大正時代に三越の図案部に所属しポスターなどを手がけた杉浦非水の代表作《非水百花譜》。植物学によって裏付けられた客観的な描写を、豊かな装飾性を兼ね備えた絵画芸術へと昇華させる画家の眼と手法に注目します。

## フローラの言い分: 花の女神の表象をめぐる断章

花の絵画の最高傑作として後世の芸術家に影響を与えたポッティチェリの《春》。数々の画家によって描かれてきた花の女神フローラ。ふたつのイメージを手がかりに、花の絵画の歴史と伝統を振り返ります。



アンブロワーズ・デュボワ《フローラ》16世紀後半  
東京富士美術館



福田美蘭《ゼフィロスから見たクロリスとフローラと三女神》1992年 高松市美術館  
©Miran Fukuda 2012

## 仮想コレクターF氏の部屋: 花の静物画の変遷をたどる

もし花の静物画に魅せられた愛好家がいいたら? 実在しない架空のコレクターの部屋に見立てた展示室で、「花瓶の花」をめぐる画家とコレクターの物語に耳を傾けてみましょう。

## FLOWERSCAPES

静謐な空間に息づく花。花の断片で覆われた画面。風景の中に出現する花。生涯を通じて繰り返し花を描く「花の画家」。画家たちが差し出す花々は、私たちの記憶や感覚と交錯して新たなイメージを開花させるでしょう。

## 9 有元利夫: 天空に花びら舞う

### 有元利夫: 天空に花びら舞う

1985年に38歳で早世した画家、有元利夫の作品には浮遊する花や花片が描かれます。どこからともなく降り注ぎ、澄んだ眼差しの人物たちの手からこぼれる花々は、普遍的な「ひと」の世界に至福と高揚の感覚をもたらします。



有元利夫《春》1979年 三番町小川美術館  
©Yoko Arimoto 2012

## 8

## FLOWERSCAPES

静謐な空間に息づく花。花の断片で覆われた画面。風景の中に出現する花。生涯を通じて繰り返し花を描く「花の画家」。画家たちが差し出す花々は、私たちの記憶や感覚と交錯して新たなイメージを開花させるでしょう。



高島野十郎《百合とヴァイオリン》1921-26年頃 目黒区美術館



J.J. グランヴィル《生命ある花々》より《ヒマワリ》(部分)  
1867年 栃木県立美術館

※会期中、展示替えがあります。詳しくはHPの出品作品リストをご覧ください。





有元利夫(花と人)1973年 三番町小川美術館  
©Yoko Arimoto 2012

### 講演会

5月5日(土) 14:00-16:00

講師：京谷啓徳(九州大学大学院人文科学研究院 准教授)

「ポッティチェリの描いた花々をめぐって」

花の絵画の最高傑作として名高いポッティチェリの《春(プリマヴェーラ)》。本展にも《春》にインスピレーションを受けた作品が出品されています。人々を魅了する巨匠の秘密を美術史的アプローチにより徹底解剖していただきます。

当日12:00より美術館受付で整理券配布、定員60名。

聴講無料(入館券が必要です)

### アートに親しむピクニック

5月19日(土) 11:00-16:00 ※雨天の場合は20日(日)に順延

ゲスト：アートテラー・とに〜

美術館を抜け出して、ピクニックをしましょう。展覧会が

もっと楽しくなる、とに〜さんのオリジナル紙芝居を見たり、アートの楽しみ方についておしゃべりしたりしませんか。シートとおやつを持参しての参加は大歓迎。ヘンリー・ムーアの彫刻のある広場に、お気軽にお立ち寄りください。

### キュレーターズ・トーク

6月2日(土) 14:00-16:00

「花の展覧会のつくり方」

芦田彩葵(熊本市現代美術館)

富田康子(横須賀美術館)

宮澤政男(Bunkamura ザ・ミュージアム)

近年話題となった花の展覧会の担当学芸員の方々をお招きし、それぞれの企画の生まれた経緯やキュレーションの秘密などについてお話を伺います。

当日12:00より美術館受付で整理券配布、定員60名。

聴講無料(入館券が必要です)

※イベントの日時は変更になる可能性があります。事前にご確認ください。

### 学芸員によるギャラリートーク

4月28日(土) 6月9日(土) 7月7日(土)

本展担当学芸員が展覧会の解説を行います。

予約不要 14:00 エントランスホール集合

### ガイドツアー

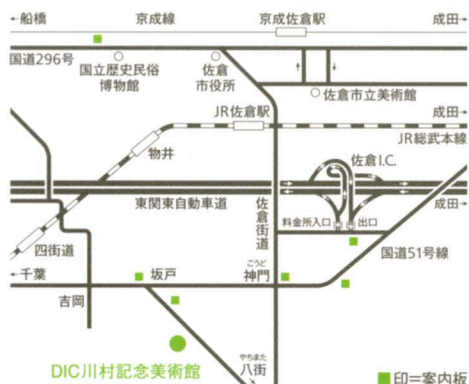
ガイドスタッフがコレクション展示と展覧会をご案内します。

予約不要 14:00 エントランスホール集合

(講演会・トーク開催日を除く毎日)

### 音声ガイド

展覧会とコレクションの解説が聞けます。1台500円。



### 交通案内

#### □自動車

東関東自動車道「佐倉IC」国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700M直進右手(約10分)

無料駐車場300台

#### □JR佐倉駅+送迎バス

東京駅から総武快速線「エアポート成田」で直通(約60分)

南口のDIC川村記念美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

#### □京成佐倉駅+送迎バス

京成上野駅から京成本線特急成田空港行きで直通(約60分)

南口の「シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)

### 無料送迎バス時刻表 緑は土日祝日のみ運行

京成佐倉駅発	JR佐倉駅発	美術館着	美術館発→JR佐倉駅 →京成佐倉駅
8:50	9:00	9:20	10:50
9:10	9:20	9:40	11:20
9:50	10:00	10:20	11:50
10:20	10:30	10:50	12:50(歴)
10:50	11:00	11:20	13:20
11:20	11:30	11:50	13:50(佐)
11:50	12:00	12:20	14:20
12:20	12:30	12:50	14:50
-	13:00	13:20	15:20
13:20	13:30	13:50	15:50
13:50	14:00	14:20	16:20
14:20	14:30	14:50	16:45
14:50	15:00	15:20	17:15
15:20	15:30	15:50	
15:50	16:00	16:20	

歴：国立歴史民俗博物館経由 佐：佐倉市立美術館経由  
※上記の館が休館の場合は通過しません。



## DIC川村記念美術館

お問い合わせ ☎ 285-8505 千葉県佐倉市坂戸631番地  
tel. 0120-498-130 <http://kawamura-museum.dic.co.jp>

### 東京駅←→DIC川村記念美術館 便利な高速バス

東京駅八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス佐倉ICルート」に乗車(約60分)

[行き] 東京駅 9:55 → DIC川村記念美術館 10:57 [帰り] DIC川村記念美術館 15:29 → 東京駅 16:26

料金：大人片道1300円 お問い合わせ：ちばグリーンバス株式会社 tel.043-481-0808